

2017年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日時：2017年4月18日(火)18:00～20:15

場所：聖路加国際大学 1階 大会議室

議長：片岡弥恵子(委員長)

出席委員：片岡弥恵子、鶴若麻理、縄秀志、高橋奈津子、小野若菜子、小林京子、宮坂勝之、
松井陽、小松康宏、中村めぐみ、墨岡亮、鐘ヶ江眞知恵、

欠席委員：神里彩子

(出席者 12人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項:新規申請(本審査)、司会:委員長 片岡弥恵子

① 多田 恭子(助産学 修士課程3年)

「母乳育児と子どもの成長；タンザニア都市部での新生児病棟とカンガルー病棟の母乳育児指導の比較」

研究責任者(多田 恭子氏)より、研究の概要等について説明が行われた。
質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 承認

② Beatrice Mwilike(助産学 博士後期課程3年)

「タンザニア思春期妊婦に対する、ピア・エデュケーターによる出産準備教育プログラムの評価」

研究責任者(Beatrice Mwilike氏)より、研究の概要等について説明が行われた。
質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 承認

③ 田中 利枝(助産学 博士後期課程2年)

「早産児の母親への産後早期の母乳育児支援に関する実情と課題」

研究責任者(田中 利枝氏)より、研究の概要等について説明が行われた。
質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

④ 園田 希(助産学 博士後期課程2年)

「妊娠期の女性が初めて乳児とふれ合うことによる生理学的・心理学的変化」

研究責任者(園田 希氏)より、研究の概要等について説明が行われた。
質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

⑤ 窪田 杏奈(助産学 博士後期課程2年)

「助産師の心的外傷性ストレス体験とワークエンゲイジメントおよびバーンアウトとの関連」

研究責任者(窪田 杏奈氏)より、研究の概要等について説明が行われた。
質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

⑥ 森 明子(ウィメンズヘルス 教授)

「一般不妊治療を受ける女性患者に対する指導管理プログラムの検討」

研究責任者(森 明子教授)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

⑦ 猪飼 やす子(老年看護学 博士後期課程1年)

「特発性肺線維症患者の病いと共に生きる体験についての質的研究」

研究責任者(猪飼 やす子氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

2. 審議事項:継続審査について、司会:委員長 片岡 弥恵子

① 審査番号 16-A037:萱間 真美 (精神看護学 教授)

「精神障害者の地域生活支援を推進する政策研究」精神科訪問看護におけるケアマネジメントに関する研究」

② 審査番号 16-A039:萱間 真美 (精神看護学 教授)

「看護学の質的研究論文査読ガイドラインと査読者教育プログラムの開発」

③ 審査番号 16-A043:奥 裕美 (看護教育学 准教授)

「リフレクションシートを集積による看護教育実践知の統合」

④ 審査番号 16-A057:萱間 真美 (精神看護学 教授)

「精神障害者の地域生活支援を推進する政策研究」

⑤ 審査番号 16-A082:大藪 菜穂子 (公衆衛生看護学 修士課程2年)

「乳幼児を育てる就労女性への産業看護職の支援」

⑥ 審査番号 16-A089:遠藤 直子 (公衆衛生看護学 博士後期課程2年)

「精神疾患をもつ人々が社会の一員として生活することとその実現に関連する要因:精神疾患をもつ人々の捉える社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)」

⑦ 審査番号 16-A091:高橋 勇太 (看護情報学 修士課程2年)

「高齢者におけるヘルスリテラシーの習得プロセスおよび情報源・サポート資源との関連について」 The process of acquiring health literacy, and correlation between health literacy and health support sources among elderly people」

⑧ 審査番号 16-A076:中田 かおり (助産学 准教授)

「仕事復帰後の母乳育児継続を目的とした出産後の女性に対するプログラムの評価」

⑨ 審査番号 16-A008:五十嵐 ゆかり (成人看護学修 博士後期課程)

「Team-Based Learning(TBL:チーム基盤型学習)の学習効果」

⑩ 審査番号 16-010:藤田 美保 (看護情報学 博士後期課程2年)

「シェアード・ディシジョン・メイキングに基づく日本の臨床試験説明文書の評価と、臨床試験関係者から見た意思

決定プロセスの現状」 The evaluation of the Informed Consent Forms for Japanese clinical trials Based on Shared Decision Making , and the Present Conditions of Decision Making Process from Stakeholder's View .」

事務局より、実施状況について説明が行われた。

委員から異議はあがらず、審議参加者全員一致により承認、となった。

3. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
16-A087	手術が必要な身体疾患を有する統合失調症患者の意思表示に対する看護師の対応	精神看護学	修士課程 3年	古賀 郁衣
16-A092	流暢性向上訓練を組み入れた多読の授業における読みの流暢性の発達	その他	助教	Huffman, Jeffrey John
16-A093	超音波検査法を用いた嚥下機能評価の教育プログラムのフィージビリティ検討	在宅看護学	助教	佐藤 直子
16-A096	経膈分娩後に助産師が内診により行う骨盤底筋回復のための介入 Protocol の適切性の検討	ウィメンズヘルス	博士後期 課程1年	池田 真弓

4. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

審議事項	整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
変更申請	16-A059	全身麻酔後の咽頭候頭痛と咽頭候頭痛が与える療養生活上の支障に関する実態調査研究	周麻酔期看護学	修士課程 2年	田口 佑子
終了報告	15-056	Good Death(よい死)を経験した日本人と日系アメリカ人の家族介護者文化比較研究(Cross-cultural study of Japanese and Japanese-American Family Caregiver Experiences with Good Death.)	成人看護学	教授	林 直子
終了報告	15-064	正期産で出生した母乳栄養児における臍帯結紮のタイミングの乳児早期の貧血予防に対する効果 :ランダム化比較試験	助産学	博士後期課程 2年	篠原 枝里子
終了報告	15-086	骨盤位の妊婦が実施する灸(有煙・無煙)の頭位変換への影響	助産学	博士後期課程 3年	東原 亜希子
終了報告	15-088	大人になって注意欠如・多動症が顕在化した人が体験している生活上の困難および診断を受けたことに伴う心理社会的影響についての質的研究	精神看護学	博士後期課程 1年	青木 裕見
終了報告	15-A055	急性心不全患者における初回立位保持に関連する要因の探索	基礎看護学	博士後期課程 3年	関根 由紀
終了報告	15-A078	産科救急シミュレーショントレーニングプログラムの開発	助産学	准教授	五十嵐ゆかり
終了報告	15-A080	保健師の基礎・現任教育のための体系的かつ実効性のある放射線教育モデルの構築と検証 —保健師教育機関における放射線教育に関する調査—	公衆衛生看護学	教授	麻原 きよみ

終了報告	15-A085	ローリスク妊婦における陣痛発来を目的とした乳頭刺激による唾液中オキシトシンの変化	助産学	博士後期課程2年	高畑 香織
終了報告	15-A087	1人目の出産・育児体験のトラウマと次子妊娠希望との関連	助産学	その他	柳村 直子
終了報告	16-A002	タンザニア施設内分娩における看護・助産師から女性への“軽蔑と虐待”の実態およびその要因の探索	助産学	博士後期課程2年	下田 佳奈
終了報告	16-A003	現任教育において新人看護師が受けたいじめの体験	看護教育学	修士課程2年	ポズナー タマラ
終了報告	16-A004	日本における文化言語的マイノリティとしてのろう者が医療を受ける体験	基礎看護学	修士課程2年	皆川 愛
終了報告	16-A005	終末期がん患者の療養場所選択に関する意思決定の関連要因と遺族が抱く後悔との関係	がん看護学	修士課程2年	沖村 愛子
終了報告	16-A009	基礎看護学実習における学生の日常生活行動援助実践に向けた教育的支援の構造化	看護教育学	修士課程2年	松本 紗織
終了報告	16-A012	助産師による情動的サポートと母子のボンディングの関係性の探索	助産学	修士課程2年	横井 美由貴
終了報告	16-A013	外国人患者のケアに携わる救急外来看護師の異文化間看護能力に関わる要因の分析	急性期看護学	修士課程2年	浅川 翔子
終了報告	16-A015	赤ちゃんと触れ合う体験が唾液中オキシトシンおよび cortisol 値に与える影響	助産学	博士後期課程2年	鎌田 希
終了報告	16-A016	訪問看護師の心不全増悪ハイリスク療養者に対する疾病管理に関連した看護実践について	在宅看護学	修士課程2年	小川 裕美
終了報告	16-A018	タンザニア農村部における思春期妊婦への教育プログラムの開発:予備研究	助産学	博士後期課程2年	Beatrice Mwilike
終了報告	16-A027	就業助産師の心的外傷体験尺度の開発 —信頼性・妥当性の検討—	助産学	博士後期課程2年	麓 杏奈
終了報告	16-A029	対話リフレクションを用いた新人看護師の優先順位の判断、時間調整のための思考力育成:午前中の看護実践に焦点を当てた教育的関わり	看護教育学	修士課程2年	神前 亜未
終了報告	16-A030	「夜勤業務のタイムマネジメントのために優先順位の判断が必要な場面での新人看護師への教育的支援 —独立して患者担当を開始した時期の事例研究—」	看護教育学	修士課程2年	小松 美緒
終了報告	16-A031	新人看護師への教育実践に関するリフレクションを通じた教育実践力の育成	看護教育学	修士課程2年	濱 裕美子
終了報告	16-A032	新人看護師が日常的に廃用症候群予防ケアを提供するための教育的支援	看護教育学	修士課程2年	安田 侑里子
終了報告	16-A033	アスベストに関連する健康問題における市民への支援活動の評価	国際看護学	准教授	長松 康子
終了報告	16-A034	定住型中高年在日外国人の生活習慣病リスク調査	国際看護学	准教授	長松 康子
終了報告	16-A035	遺族から見た終末期胸膜中皮腫患者のQOLと遺族自身のQOL調査	国際看護学	准教授	長松 康子

終了報告	16-A040	科目「教職実践演習(養護)」における「教職の倫理」について学ぶ意義と学習成果の検討	公衆衛生看護学	助教	三森 寧子
終了報告	16-A041	助産師が職能団体で行う性教育の実施とその支援体制の全国調査	ウイメンズヘルス	修士課程2年	米澤 泉
終了報告	16-A042	入院直後の重篤な児をもつ両親とのコミュニケーションにおける NICU 看護師の体験	助産学	修士課程2年	石川 智美
終了報告	16-A044	「更年期女性への Web 上ホルモン補充療法意思決定ガイドの開発と評価」	看護情報学	修士課程3年	濱田 亜矢子
終了報告	16-A048	小児の療養環境に関する患者安全教育の試み	小児看護学	助教	沢口 恵
終了報告	16-A052	育児支援プログラム「HUG YOUR BABY」を受講した母親の育児への認識と育児体験	助産学	助教	新福 洋子
終了報告	16-A054	助産師が捉える周産期のうつ病発症予防の課題	助産学	修士課程2年	磯 怜央菜
終了報告	16-A056	切迫早産によって予期せぬ入院となった妊婦に対する、入院生活への適応を促す看護	助産学	修士課程2年	鈴木 菜香
終了報告	16-A059	全身麻酔後の咽頭喉頭痛と咽頭喉頭痛が与える療養生活上の支障に関する実態調査研究	周麻酔期看護学	修士課程2年	田口 佑子
終了報告	16-A060	看護実践における「安楽」の理論化～看護師を対象とした質問紙調査～	基礎看護学	准教授	佐居 由美
終了報告	16-A062	全国の産科施設におけるローリスク妊産婦に対する妊娠・分娩期ケアの実態調査	助産学	修士課程2年	井上 さとみ
終了報告	16-A063	子どもを特別養子縁組に託すことを検討している女性への助産ケア—先駆的な実践例から—	助産学	修士課程2年	甕 満奈美
終了報告	16-A064	周産期異常の臨床判断力を高める助産教育プログラムの評価	助産学	教授	片岡 弥恵子
終了報告	16-A065	在宅で発生する医療事故の定義に関する研究	在宅看護学	教授	山田 雅子
終了報告	16-A066	第2子以降の子どもを出産する女性に向けた子育てや生・性に関するブックレットの作成と評価	助産学	修士課程2年	永吉 智恵美
終了報告	16-A067	A 病院の麻酔科問診票の変更が患者と医療者へ及ぼす影響	周麻酔期看護学	修士課程2年	岸本 陽子
終了報告	16-A070	助産師による切迫早産妊婦への家庭訪問プロトコルの開発	助産学	修士課程2年	木原 万帆
終了報告	16-A071	「がん患者の療養過程における医療者との話し合いの現状と課題 —治療の選択・中止、緩和ケア、療養について—」	がん看護学	博士後期課程2年	門脇 緑
終了報告	16-A074	インドネシアの助産師むけカンガルーケア(早期接触)トレーニングプログラムの開発と評価(パイロット・スタディ)	国際看護学	准教授	長松 康子
終了報告	16-A077	平成 28 年度 厚生労働省 看護職員確保対策特別事業受託研究「准看護師養成所における教育に関する調査」	看護管理学	特任教授	井部 俊子
終了報告	16-A081	聖路加国際大学海外留学プログラムの評価指標の作成 - 学生の学びと成長に焦点をあてて-	その他	教授	麻原 きよみ
終了報告	15-A090	生活行動の視点に基づく消化管術後患者の離床を促進する看護モデルの開発	看護技術学	博士後期課程3年	加藤木 真史
中止報告	16-A050	急性・重症患者看護専門看護師が行うケースコンサルテーションにおける教育的関わりの実際	急性期看護学	修士課程2年	白石 陸

5. その他審議・連絡

- ① 委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。
- ② 事務局より、委員会ファイルの配布について説明があった。
- ③ 事務局より、倫理審査委員会の認定についての報告があった。

6. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2017年5月30日 18:00～ (1階 大会議室)にて開催。